



神輿 画・畑本一郎

創刊200周年記念に寄せて

能美市長 井出 敏朗

寺井町公民館報・創刊200号、おめでとうございます。
年に4回のペースで発行されている号数から計算すると、今年で創刊して50周年・半世紀となり先人に感謝し歴史の重さを覚え、能美市が誕生して20周年の節目でもあることから「20」に縁も感じ、記念号に寄稿の榮を賜ったことに御礼を申し上げます。

公民館と聞くと、最初に思い浮かべるのは、拙宅隣にあつた3階建ての寺井町公民館（昭和33年10月に竣工、後の寺井町青少年文化会館）です。幼い時代には館内で子ども会が開催されたり非常階段で遊んだり、中学時代には卓球の練習、結婚式・披露宴が催されていた情景も思い浮かびます。自身が県外大学時代に取り壊され現在の北國銀行寺井支店となり、今の建て替えに向けた更地風景から、改めて当時の公民館を懐かしんでもいました。

公民館を辞書で調べると「社会教育法に基づき、住民の教養を高め、文化の向上を図るために市町村が設置する社会教育施設」と記され、市内には80を超える施設が登録されています。能美市ではスマートインクルーシブシティ構想（※）の一環として「デジタル公民館」と名付け、全ての公民館にフリーWi-Fi装置を整備し、スマホ教室・eスポーツ・GIGAスクールなどを通して多世代間が交流する場所として、或いはスマート物流やオンライン診療の基地として、非常時には一時避難所としての機能も有することから設備の充実など、公民館を幅広く活用することを進めており、市民の様々な用途に於いて極めて重要な施設でもあります。

そして、公民館は施設としての名称に留まらず、運動会や祭典の準備運営などに活動する団体の代名詞ともなっています。

我ふるさと寺井町に於いての公民館活動は、類い稀なる活躍ぶり、老若男女が集い競技を楽しむ春の「寺井町民大運動会」、飲食やゲームの屋台が連なり輪踊りで締める「町民ふるさと夏祭り」、お神輿が町内を隈なく巡行する「奥野八幡神社秋季祭典」、文化祭・料理教室・秋山キャンパス・スポーツ大会など四季折々に多種多様の事業を手掛け、子どもから大人の幅広い年代層が多数に参加する活動は、寺井町の市民力・地域力を支える原点となっており、携わる皆さまへ感謝と敬意を申し上げます。

近年、インターネットやスマートフォンの普及などから、住民相互の交流が希薄となり、以前には無かった事件やトラブルの発生が、社会問題化しています。市内各地域に於ける青壮年団や女性会の会員数の減少は、将来の自治会運営にも影響を及ぼしかねず、そんな現代の社会現象を深化させない役割として、公民館活動は極めて貴重であります！

公務などの都合から公民館行事へ思うように参加できないことをお許し賜り、誰もが気軽に何時でも参加し立ち寄れる公民館・公民館活動を、寺井町民として市長として、引き続き参画し支えていきたいと思っています。

※スマートインクルーシブシティ構想：デジタル技術を活用して、誰一人取り残されない地域共生社会を築く取り組み



◆寺井町地域福祉委員会◆

7月12日(土)に多目的ホールにおいて、寺井町地域福祉委員会が開催されました。初めに、事務局より令和7年12月1日の民生・児童委員全国一斉改選で現行6名から2名増の8名にすることの趣旨説明と各町内会役割分担区域について提案説明し了承されました。見守り活動やいきいきサロン等が今迄以上に活性化する事をお願いする次第です。

最後に能美市社会福祉協議会から令和7年度の会員会費募集が7月～12月まで実施されますのでご協力をお願いと、安心相談センターより猛暑が続いており熱中症に対する注意喚起がありました。

◆町内一斉川掃除実施◆

7月13日(日)に町内一斉川掃除が午前6時30分より実施されました。町内会毎に側溝に堆積した土砂上げや、川・用水の草刈り等を行いました。清掃作業で出た土砂は、町会指定の場所に処理し、午前10

時30分迄に終了しました。今後も各家庭におかれましてはできる限りの環境美化にご協力をお願い致します。

◆寺井町自主防災会講演会◆

7月13日(日)午後1時より能美市防災センターにおいて、寺井町自主防災会と寺井町防災士会との共催で講演会が開催されました。寺井町14町内会から町内の役員、班長などにお声を掛けて頂き70名余りの参加がありました。今回は令和6年1月1日に発生した能登半島地震を経験され、避難所で活動されました珠洲市正院町の小町康夫公民館長のお話しをお聞きすることができました。地震発生時の安否確認の対応や避難所での実態を分かりやすく説明されました。避難者も避難所での役割があることや避難所でのトイレ事情が一番大切なことなど、参加されました町民の皆さんには、大いに参考になったのではないかと思います。講演を聞いた後は、各ブロック別に議論し、現状と今後の対応について代表者が発表し、改めて防災に対する意識向上を認識致しました。その後は能美市消防本部寺井消防署員から緊急時の蘇生法の実技講習がありました。人形を使つての心肺蘇生では、正しい姿勢で強く胸を押す体験を行い救急隊が到着するまで休みなく続けることが命を助けることになることを教えられました。

今年度の避難訓練をよりレベルアップするために、災害発生時各町内

会の班ごとの集合場所での安否確認に重点を置くことを確認し、大規模災害においては「隣近所での迅速な安否確認」が重要であることが再認識されました。過去の人命救助でも、倒壊した建物から救出された人の8割は、家族や近隣住民により救助されています。班や町内会単位で安否確認を行うことで行政に対し物資要請を迅速に行うことができるのではないかと話されました。



防災講演会



◆安否確認の班ごとの世帯台帳の作成を進める◆

全国で発生した甚大な被害が出た地震、大規模水害などで経験された方々から聞こえてくることは、災害時直後の安否確認です。日頃の隣近所のつながりが非常に大切です。災害時直後の人名救助で助かった命の多くは近所の方々の救助作業です。そこで、役立つのが安否確認用の世帯の名簿です。

寺井町では今年より各町内会で、班ごとの安否確認用の世帯台帳を作成することになりました。作成された台帳は、班長さんが管理し災害時の安否確認の際に使用されることになり、それ以外での使用することはありません。

災害時での命のつながりに役立つ大切な情報として、班長さんが班内でのつながりのために大切に保管管理していきます。

町民の皆さんのご理解とご協力をお願い致します。



◆◆寺井町戦没者慰霊法要◆◆

寺井町無縁仏法要

8月13日(水)夕方6時より、寺井中学校横の戦没者慰霊墓地内で開催しました。井出市長は、公務のために時間前に参拝されましたが、卯野市議会議員、ご遺族町会関係者などが参列しました。

主催した北野町会長は、日本は終戦から80年の歳月が流れ、平和な日々が流れていますが、いまだに世界各地で侵略や紛争が続いています。

わが国の平和がもたされているのは、祖国を思い戦死された尊い英霊の犠牲の上に築かれていることを再認識し、平和の大切さを今一度考え後世に繋いでいくことが大切であると挨拶しました。

8月14日(木)午前7時から寺井町東墓地にある無縁仏のお墓で、寺井町会役員などが参列して、お墓の法要を執り行いました。

なお8月8日(金)に和老会会員の皆様に、戦没者墓地並びに無縁仏慰霊碑周辺の除草と清掃して頂き、お盆を迎えることができました。和老会の皆様には暑い中誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

また、無縁仏慰霊碑の隣に安置されています6体のお地藏さんに、新しい頭巾と前掛けを付け替えました。この頭巾と前掛けは、今年も寺井町中町松本薫さんが届けてくださいました。松本さんは、100歳を迎えられ、今回で最後の奉仕をさせていただきますとのことで、心ある方に引き継いでいただきますとのことでした。松本さんには、お体ご自愛されご健康で毎日をお過ごしいただきますようお願いしております。誠に長い間ありがとうございました。

壮年団

粗大ごみ回収のお知らせ

寺井町壮年団からののお知らせです。

11月9日(日)午前8時から10時の間、寺井町壮年団による「粗大ごみ回収」を実施します。

対象となる世帯は、以下の通りです。

①ご夫婦2人世帯で、どちらかが75歳以上の世帯

②75歳以上で一人暮らしの世帯

壮年団員または農協職員が、各御家庭まで訪問回収いたします。

回収できる粗大ごみは能美市美化センターで回収できるものに限らせていただきます。

※以下のものは回収できません。

エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機・パソコン・廃油・ガスボンベ・タイヤ・バッテリー・消火器・医療系廃棄物・農薬・火薬・汚泥・石膏ボード・農業用ビニール・おがくず・事業所の加工または製造物からの廃棄物

詳細につきましては、後日、回覧板で「申し込み用紙」を配布いたしますので、そちらをご確認ください。



10月以降の予定

第21回能美市民 スポーツフェスティバルinてらい

- と き 10/5(日)9:00～
- ところ 寺井小学校運動場
雨天中止

第21回地区一周駅伝競走大会

- と き 10/12(日)9:00スタート

第20回ソフトバレーボール大会

- と き 10/12(日)13:00～
- ところ 寺井体育館

第49回町民文化祭

- と き 10/19(日)9:00～15:00
- ところ 寺井町多目的ホール
作品搬入10/18(土)午前中
作品搬出10/19(日)15:00～

男の料理教室

- と き 10/26(日)17:00～19:00
11/19(日)17:00～19:00
- ところ 寺井町民センター

寺井町

ふるさと夏祭り

7月26日(土)
午後4時30分開場

7月26日(土)午後4時30分から、「寺井町ふるさと夏まつり」が、寺井中学校駐車場を会場として盛大に開催されました。町内外から1000名を超える来場者があり、大いに賑わいました。

寺井中学校吹奏楽部の演奏で幕を開け、保育園児の踊り、ビンゴゲームなどが舞台で行われ、日が暮れたころから輪踊りが始まりました。

町内会をはじめ各種団体、町内の企業から多数の参加があり、飛び入り参加の方も含め、大きな輪踊りの輪ができ、楽しい時間を過ごしました。

壮年団・寺井町女性会・九谷町女性会・和老会・寺井を盛り上げる会・防災士会など各種団体の模擬店が開催され、大変盛況で長い列ができていました。

また、飲食スペースのテントでは、多くの方が休憩したり、模擬店で買った縁日グルメを楽しみ、盛り上がりしていました。開催にご協力いただきました皆さん、参加いただいた皆さん、暑い中本当にありがとうございます。

最後に、翌朝の清掃にも参加していただいた皆さんにはあらためて感謝いたします。





7月13日
(日曜日)
午前6時より

クリーン寺井デー

7月13日、朝6:00〜7:00までクリーン寺井デーが実施されました。能美市役所寺井分室と奥野会館の2ヶ所に別れてゴミの回収を行いました。小中学生を中心としたご家族や、ご近所の方々が、

早朝から回収したごみを回収場所へもってきてくださいました。

ご参加いただいた方々には、お礼を申し上げます。皆さんのご協力ありがとうございました。



8月24日
(日曜日)
午前6時より

カーブミラー清掃

社会部の主催で、町内のカーブミラー清掃・点検を行いました。

朝6時に横町、山道、中町、北町4ヶ所に別れて全88か所のカーブミラーの点検と清掃を行いました。快晴の素晴らしい天候で、早朝からすでに暑さが始まっており、汗を拭きながらの作業でしたが、きれいになったカーブミラーを見ると達成感があります。当日は、社会部員を中心に18名のご参加を頂き1つ1つ丁寧に清掃し、破損個所があれば記録しました。

部員、役員、ご参加いただいた皆様、朝早くから参加していただきありがとうございます。



**6月16日
6月23日
6月30日**
午後7時30分
より

夏の文化教室 ガラスアート体験教室

文化部

6月16日、23日、6月30日と3回シリーズにて、村田晶子先生をお迎えしてガラスアート体験教室を開催しました。参加者数は22名となりました。

まず初回となる16日、「鏡」作りです。

金色の柔らかい針金と、カラーフィルムを使って鏡の枠の装飾を行いました。

2回目の23日は「フォトフレーム」作りです。

ガラス板に、前回と同じ材料で、装飾を行いました。

最終日の30日には、持ち寄ったガラス瓶で、各2回で身に着けた技術で、装飾を施していきます。

カラーフィルムの大きさや、組み合わせにより、ふたつとない素敵な作品に仕上がりました。

参加された皆様、お疲れさまでした。今後もいろんな企画を催していきますので、またの参加をお待ちしております。



文化部

8月24日
(日曜日)

秋の文化教室 親子ガラスアート小物入れ作成

8月24日、村田晶子先生をお迎えして秋の文化教室親子ガラスアート小物入れ作成を開催しました。参加者数は3家族6名となりました。

ガラス瓶に、装飾を施していきます。
カラーフィルムの大きさや、組み合わせに工夫を凝らし、出来上がった作品は、夏休みの良い思い出となったことでしょう。
参加された皆様、お疲れさまでした。



体育部

**8月30日
~8月31日**
(土~日)

第17回町民秋山キャンプ

8月30日正午に多目的ホール前に集合し、前年に引き続きキャンプ地の白山吉野オートキャンプ場(オートサイト)へ向かいます。このキャンプ場は、白山ろくテマパークのアウトドアの拠点として、オートキャンプ・バーベキュー場を核とした園地となっていて、コインシャワーも利用できます。

夏休み最後の週末ということもあって、参加者は19名でした。
自然を身近に感じながら、火おこしや設営など普段できないことを楽しく経験する良い機会となりました。
参加された皆様、お疲れ様でした。



寺井

寺井町公民館報

第200号記念号

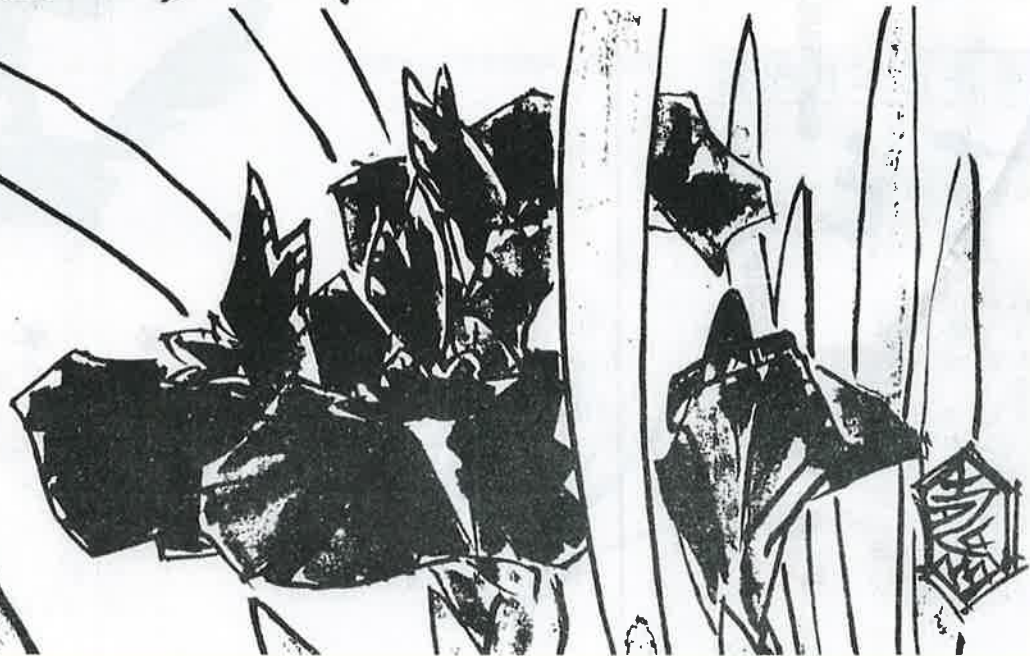
寺井

寺井区公民館報

No. 1

51年4月発行

館報の第1号の表紙です。
カットは中島寿山さんです。
題字は朝倉良夫さんです。



寺井町公民館報200号発刊にあたって

寺井町公民館長 南 昭宏

このたび、寺井町公民館報が記念すべき200号を迎えることとなりました。日頃より公民館活動にご理解ご協力をいただいております町民の皆様、関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

公民館報は、昭和51年の創刊以来、町の文化・生涯学習の拠点として、町民の皆様に様々な情報をお届けしてまいりました。200号という節目を迎えられたのは、ひとえに皆様のご支援の賜物と改めて深く感謝申し上げます。

寺井町公民館は、運営規則第1条にあります「町民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること」を目的としています。

例年5月に開催される町民大運動会では、大人も子どもも、時には三世代が共に汗を流し、笑顔で競い合う姿は、まさに地域の一体感を象徴する光景であります。

また、10月の町民文化祭では、日頃の文化活動の成果を発表する場として、手芸、絵画、書道、陶芸、保育園児の作品などの展示や、餅つきやお茶席、近年では模擬店やゲームコーナーなどの催しによる賑わい創出を通じて、町民の豊かな才能と文化の薫りを再認識する機会となっています。

そのほか、様々な活動や行事を通じて、私たちは共に笑い、学び、交流し、地域の絆を深めていきたいと思っています。

これからも、時代とともに変化し町民の皆様の多様なニーズに応えられるよう、魅力ある行事や事業を企画・運営してまいります。

寺井町公民館が、今後も皆様とともに歩み続ける場所であるために、公民館役員一同、精一杯努めてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、寺井町公民館のさらなる発展と、町民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

寺井区公民館報

寺井

平成12年10月1日発行 第100号



横町 高木松生さん

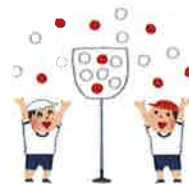
寺井区公民館報

寺井

第50号 昭和63年5月1日発行



〔カット 山岸乃布枝〕



寺井町公民館報200号発行にあたって

寺井町公民館 総務部長 河村 尚人

昭和51年に、寺井町公民館が設置されて以降、その年の公民館活動の広報を担うため、創刊号が発行されました。以降49年間途切れることなく、発行されつづけ、50年目の今年10月、ついに、創刊200号を発行するに至りました。これもひとえに、これまで公民館活動にご理解とご支援をいただいた皆様のおかげです。本当にありがとうございます。また、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

さて、寺井町公民館について紹介いたしますと、昭和50年9月公民館設置準備会が開かれ、幾度も協議を重ね、昭和51年2月に寺井区(現寺井町)総会にて設立が決定されました。

以下、歴代の公民館長をご紹介します。

初代	朝倉 良夫	昭和51年～昭和60年
二代	北村 利隆	昭和61年～平成3年
三代	宮下 兵衛	平成4年～平成7年
四代	伊野 征之	平成8年～平成9年
五代	米脇 強	平成10年～平成13年
六代	宮田 明	平成14年～平成24年
七代	越野 明	平成25年～令和3年
八代	南 昭宏	令和4年～

また、ここに設立時の公民館の役員を紹介させていただきます。

館長	朝倉 良夫
主事	岡田 外晴
書記	塩村 光男
総務部長	岡田 外照
文化部長	倉橋 弘
社会部長	高田 久信
厚生部長	小野 澄夫
	山本 和明
	山岡 和夫

さて、昨今公民館などの自治会においては、担い手の不足や、行事への参加者の減少など、取り巻く環境は決して良好とは言えません。わが、公民館においても、これらの問題とは無縁ではなく、役員・部員も知恵を絞って対処しております。今後も公民館活動を継続するには、何より町民の皆様のご理解ご協力が欠かせません。

先達たちの成し遂げたことの敬意を表しつつ、公民館役員・部員一同、現代にあった活動を模索してまいりますので、変わらぬご支援ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

寺井

寺井町公民館報

平成25年5月1日発行
第150号



琉球ガラス
倉元 美幸さん（山道）

公民館活動を振り返って

寺井町公民館 前館長 越野 明

私が公民館長拝任し、引き継いだ時、会員数が100名を超える組織数だったと記憶しています。この数は能美市内の公民館の中でも群を抜いて多い数だと感じました。館長で在籍中は部長以上の役員に頑張っていたいただいたおかげで、この数がまとまって各事業に参画しスムーズな運営ができたとも思っています。初めての館長として携わった始めの事業は、市中央公民館主催のスマートウォークに参加する事業だったように記憶しております。

内容は4月当初に寺井小学校から出発してのみ電広場（辰口地区）までの道のりで桜ロード（旧能美電線路沿い）を歩いて往復することでした。町民、町会、町内会、各種団体、公民館の皆さんに声を掛け、多くの参加をいただきました。またその当時の新市長、新教育長も一緒に参加し歩いていただくことを覚えております。

当日は晴れていて多くの参加者でしたので、桜ロードも長い列でした。ウォーキングする距離は慣れた人にはそんなに長い距離ではありませんでしたが、初めての参加者には相当な距離だったかも知れません。

寺井町内の方々には石子公園、徳久駅跡広場、のみ電広場（辰口地区）までの往復を歩く3コースを設定しました。各自の負担を減らし、多くの方に参加してもらいましたが出発から辰口地区に向かうため往路の傾斜は登りで復路は下りでした。その為かのみ電広場（辰口地区）までの往路だけの人もいました。

この事業の主催者が徳久駅跡広場、のみ電広場（辰口地区）で途中休憩の粋な計らいをいただいていたいました。おかげでのみ電広場（辰口地区）までの往復も苦にならずに歩ききったのは私だけでしょうか。

この事業に参加したことで後の公民館事業が関係団体から前向きな意見をいただき、進んで行けたものと思っています。

次にこの公民館が主催・主幹する町運動会、町民ふるさと夏まつりと町民参加者が非常に多い事業、参加者を募って行う事業、町民の文化レベルを高揚する事業、影に隠れているが生活に必要な事業、この館報発刊と一年間の事業計画立案する活動は関係団体から意見を伺い事業を組み立てていきました。

いろんな意見を集約する上で事業を諮る前と後に役員会を開催して相談しました。出来なければ任に耐えないものだったと思いましたが事業は完遂しました。

春夏秋冬を通して邁進する寺井町公民館にエールをお送りします。

こんな組織は寺井町にしか無く、これからも町会、町内会、各種団体と意見を交わし、事業を進めていく必要があると思っています。

最後に私が公民館長を務められたのも皆さんのおかげと思っています。ありがとうございました。

懐かし写真館



ここに掲載された写真は、これまで発行された公民館報に、記載されたものです。
当時の雰囲気を伝えるもので、50年の時間を感じていただけたら、幸いです。

①能美電廃止

昭和55年の11月号の表紙に掲載された写真です。
この年、北陸鉄道の合理化に伴い、長年親しまれていた北陸鉄道能美線が廃止されました。
その時走行した「能美線さよなら電車」の写真です。



②寺井区民センター落成

昭和58年に北国銀行寺井支店と旧公民館の場所を入れ替えて、現在の場所に寺井区民センター（現在は、寺井町民センター）が落成、供用が開始されました。



③区民文化祭の模様

平成3年に開催した、区民文化祭の模様です。
当時は能美市ではなかったため、「能美郡寺井町寺井」は「寺井区」と呼ばれていました。



④区民大運動会の模様

平成元年の開催された、区民大運動会の模様です。現在は、「町民大運動会」です。
今とあまり変わらない様子で大変盛況です。

